

第5章 市による環境負荷低減のための率先行動

- 環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン取り組み結果 -

市は、市内最大の事業者であることを踏まえ、事務事業における環境負荷の低減を図るために、自ら率先して環境保全に取り組んでいかなければなりません。

そこで平成17年3月、事務事業における環境配慮行動の実践と地球温暖化対策実行計画を定めた「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」を策定しました。また、このプランに基づき環境負荷の少ない物品の購入を推進する「八王子市グリーン調達方針」も策定しました。

この計画に基づき、職員一人ひとりの環境配慮行動を定着させ、市内事業者の模範となるよう推進していきます。

第1節 プランの概要

1. 環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン

(1) 取り組みの3つの柱と計画期間

八王子市役所エコアクションプランでは、「地球温暖化対策の推進」、「環境に配慮した物品調達(グリーン調達)の推進」、「廃棄物の減量とリサイクルの推進」を取り組みの3つの柱として、市の庁舎及び保育園、小中学校など市の施設を対象とし平成17年度から21年度までの5ヵ年間で目標達成に向けた取り組みを行います。

(2) プランの目標

事務事業活動のあらゆる場面(買うとき・使うとき・ごみにする前に・つくるとき 施設整備など)において、下表の具体的な取り組みと目標を定め、省資源・省エネルギーを進めていきます。

また、地球温暖化対策実行計画として、平成21年度までに市の事務事業に関わる温室効果ガスの排出量(CO₂換算)を平成15年度の基準で20%削減することを目標に掲げています。

	具体的な取り組み	平成21年度の達成目標
買 う と き	グリーン調達方針に基づき調達する。	特に重点品目については「グリーン調達方針」の基準により100%購入する。
	印刷用紙の再生紙の利用を拡大する。	すべての印刷用紙の古紙配合率を「グリーン調達方針」の基準とする。
	市が購入する車両はより低公害な車とする。	「グリーン調達方針」の基準により100%購入する。
使 う と き	コピー用紙の使用を抑制する。	コピー用紙の使用量(購入量)を10%削減する。
	水の使用を抑制する。	水道使用量を10%削減する
	事務用品等を繰り返し使う。	使用済み封筒、ファイル等の再使用を徹底する。
	日常事務活動に伴う電気の使用を減らす。	一般事務系電気使用量を13%削減する。
	ガスの使用を抑制する。	ガス使用量を10%削減する。
	自動車の使用を抑制する。	ガソリン使用量を10%削減する。
す る 前 に	ごみを出さない工夫をする。	可燃廃棄物の排出量を30%削減する。
	使用済みトナーカートリッジをリサイクルする。	トナーカートリッジのリサイクル率を100%とする。

2. 八王子市グリーン調達方針

八王子市グリーン調達方針の基本原則では、第一に『購入の必要性の検討』を掲げています。事前に物品の購入の必要性を十分に検討することで無駄な購入をなくすことが、限りある資源・エネルギーの消費の抑制につながる最も重要なことだからです。

18年度は「紙類」、「文具類」、「機器類」、「OA機器類」、「電気製品類」、「自動車」、「作業着」の分類のうち合計91品目を、特に環境物品の選択を重点的に推進していく『グリーン調達重点品目』と定め、調達目標100%を目指し取り組んでいます。

3. 八王子市環境マネジメントシステム(LAS-E)への取り組み

エコアクションプランの取り組みをより一層推進するために、平成18年度から自治体向けの環境マネジメントシステム「環境自治体スタンダード『LAS-E』」を導入しました。事業活動における環境に配慮した取り組みを、目標を立てて実行し、その内容について点検・見直し・改善という一連の流れを継続的に行っていくしくみで、目標の設定や取り組み状況の監査に市民参加が必須となっているところが特徴です。市民と協働で事業活動における環境管理を行うことで、公正性と透明性を高めると共に、地方自治の本旨である『市民自治』を環境面から実現していきます。

12月から取り組みを開始し、平成19年3月に市民による各職場の監査が行なわれ、結果は良好でした。

第2節 18年度の取り組みとその結果

1. プラン推進のしくみと主な取り組み

(1) プラン推進のしくみ

ア. 目標設定

プランについて数値目標を定めることで、八王子市役所が目指すエコオフィス像に具体性を持たせ、職員へ求める環境配慮行動を明確にしています。

イ. 環境推進員の設置

全庁で積極的・効率的にエコアクションプランの取り組みを進めるため、各課で1名の環境推進員を選任しています。

環境推進員は所属員に対して環境配慮行動の徹底を指導するとともに、課で購入する物品に対して八王子市グリーン調達方針に則っているかチェックする役割を担っています。

ウ. 職員研修

環境に配慮した取り組みの徹底を図るため、環境推進員と環境推進責任者及び環境推進監督者(課長・部長職)の全員を対象に研修を行いました。そして全職員へハンドブックを配布し、環境推進員と環境推進責任者を通して全庁各所管で研修を実施しました。

また、全職員を対象にエコオフィスニュース(電子版)を2回発行し、環境配慮意識の啓発に努めています。

エ. 達成状況の点検

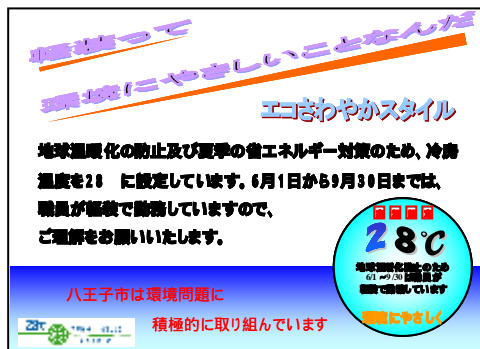
エコアクションプランの5ヵ年間の目標達成に向け、毎年度達成状況の点検・評価を行います。現状を知ることによって問題点を確認し、さらなる改善につなげていきます。

(2) 主な取り組み

プラン目標の実現のためには、個々の職員の意識とそれに伴う環境配慮行動が最も重要ですが、組織的に取り組んでいかなければならない以下の項目については、全庁への呼びかけを徹底しました。

- ア．空調の設定温度（夏季28℃、冬季20℃）の徹底
- イ．不要な電気の消灯（節電）の徹底
- ウ．廃棄物の資源化
- エ．低公害車の計画的な導入

2. 地球温暖化対策の推進



(1) 電気消費量削減による取り組み

CO₂の排出を減らす取り組みとして、電気消費量の削減に取り組んでいます。効率的な施設運営のために、空調・照明・搬送など電気使用量の多いものを中心に削減に努めました。また研修などを通じ、職員一人ひとりが、節電のための取り組みの強化を図り、夏の冷房28℃・冬の暖房20℃の室温設定、昼休みの電気の消灯、不使用時のパソコンの電源を切る等に努めています。

(2) ごみ減量による取り組み

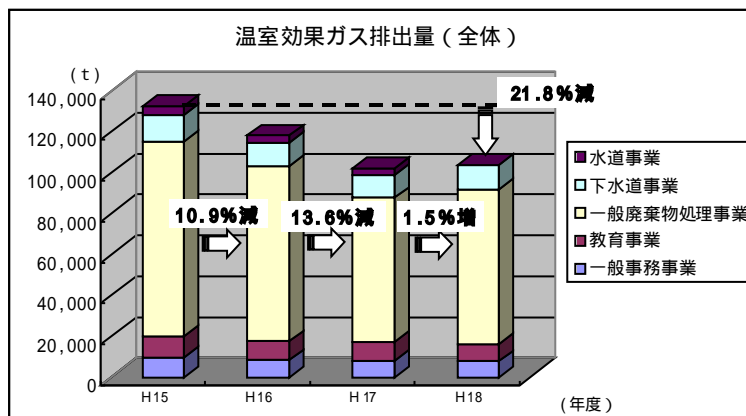
ごみを焼却処理するとCO₂が排出されます。平成16年10月のごみ指定袋制度（有料化）によりごみの量は減少してきましたが、当初に比べリバウンドの傾向が見られ始めています。組成分析によると、生ごみ・紙類・プラスチック類を中心に減量化や資源化の余地があることがわかりました。さらなるごみ減量・資源化を推進することでCO₂排出量削減を進めていきます。

(3) 温室効果ガス排出量調査票による把握

市の事務事業に関わる全ての施設において、エネルギーや燃料の使用量等から毎年度の温室効果ガス排出量（CO₂換算）を把握しています。温室効果ガス排出量の推移を把握し、公表することでさらなる改善へとつなげていきます。

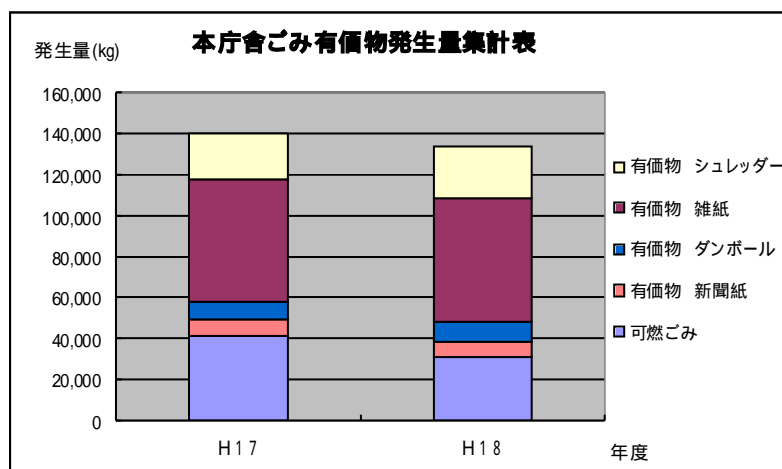
温室効果ガス削減結果（CO₂換算）

市の事務事業（削減対象の事業）に関わる18年度の温室効果ガス排出量は15年度より21.8%減少しているものの、前年度に比べほぼ横ばいの、約103,000トンとなりました。（16年度：約118,000トン、17年度：約102,000トン）



3. 廃棄物の減量とリサイクルの推進

L A S - E の取り組みが開始されたことから、職員の紙類の資源化への意識が高まり、可燃ごみに含まれていた再生可能な紙ごみの割合は減少しました。



庁内文書の裏紙使用や両面コピーの励行、資源分別の徹底を呼びかけた結果、可燃ごみ中の再生可能な紙ごみの量が減少し、総排出量も減少しました。今後もさらなる減量を図るため、職員への意識啓発を行っていきます。

4. グリーン調達実績

八王子市グリーン調達方針で定めたグリーン調達重点品目の調達率については、エコ商品の増加に加え、L A S - E の取り組みの中で数値目標を設定し、研修などを通じて職員の意識を高めたことから、おおむね増加しています。

特に「OA機器」、「電気製品類」については前年度に比べ、大幅に調達率を上げることができました。

引き続き意識啓発と環境推進員を中心としたチェック体制により環境物品の選択をよりいっそう徹底するよう努めるとともに、グリーン調達重点品目の拡充を検討し、環境負荷の少ない物品等の調達を推進していきます。

グリーン調達率

$$\frac{\text{購入した総数のうち環境物品の総数}}{\text{購入した総数}} (\%)$$

グリーン調達重点品目におけるグリーン調達率

分類	グリーン調達率 (品数ベース)	
	平成17年度	平成18年度
紙類	98.4%	97.9%
文具類	98.7%	99.8%
機器類	73.8%	95.0%
OA機器類	58.5%	99.6%
電気製品類	18.5%	83.9%
自動車	100%	100%
作業着	75.4%	93.4%